

第 1 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 656-0046
住 所 兵庫県神戸市中央区港島中町 4 丁目 1 番 1
氏 名 株式会社ダイエー 印
代表取締役 桑原 道夫
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 9 条第 1 項 (同条第 4 項において読み替えて準用する場合を含む。) の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ダイエー		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市川崎区白石町 6 番 1 号		
該当する事業 者の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の種類	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業 の内容	セルフサービスを主体とする商品の小売業		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		6, 250 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	関東営業本部 総務人事部 総務課
		所在地	東京都板橋区成増 2 - 2 1 - 2
	電話番号		03-6891-3715
	F A X 番号		03-6891-3801
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	平成22年度 ～ 平成24年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	1. 主要設備の保全管理 2. 照明設備の省エネタイプへの更新 3. 熱源周りの更新 詳細は、指針様式第1号（第4、5面）のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	なし
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	1. 店舗廃棄物の管理 2. 紙の排出量削減 3. 水使用量の削減 詳細は、指針様式第1号（第6面）のとおり。
備 考	

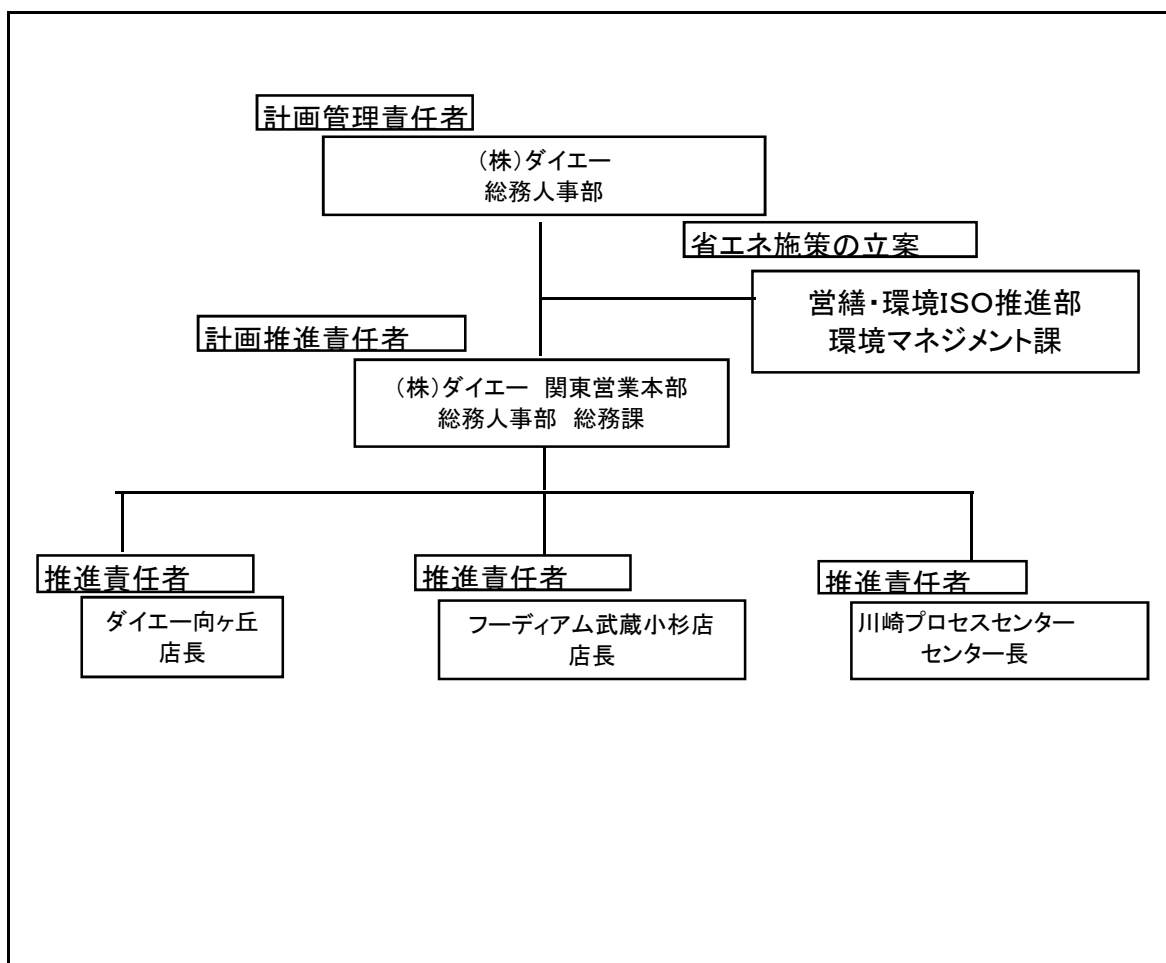
- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
 4 ※印の欄は記入しないでください。
 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

1. 当社の事業活動において、環境汚染の予防に努めると共に、環境マネジメントシステムを運用し、継続的な改善を図ります。
2. 環境側面に関連する法規制および、当社が受け入れを決めた要求事項を順守します。
3. 次に挙げるテーマについて重点的に取り組んでいきます。
 - ①省エネルギーの推進
 - ②廃棄物の削減・適正処理
 - ③省資源への取組
 - ④環境に配慮した活動と商品の提供
4. この方針を全従業員および当社で働く全ての人々に周知すると共に社外へ公表します。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基 準 年 度	平成21 年度	目 標 年 度	平成24 年度
基 準 排 出 量	(実) 7,799 (調) 6,358 t-CO ₂	目 標 排 出 量	(実) 7,565 t-CO ₂
削 減 率	(実) 3.0 %	削 減 量	(実) 234 t-CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原 単 位 の 活 動 量		単 位	
基 準 年 度 の 値		目 標 年 度 の 値	
削 減 率	%		
延床面積、生産数量 以外の原単位を使用 した場合の理由			

ウ 目標設定に関する考え方

当社は2009年10月にISO14001を取得しCO2削減に取り組んでおります。事業活動においては環境汚染の予防に努めると共にISO14001システムを活用し、CO2削減目標に向けて継続的な改善を図ります。

削減目標に関しては2010年度は2009年度に対し電気使用量で5%のISO目標値を設定しており、全体では3%の削減目標を設定しており、その達成に向けてさまざまな省エネ施策を構築していきます。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)	1. 主要設備等の保全管理 (1) 主要設備の管理標準作成 (2) 主要設備ごとのエネルギー使用量の把握と省エネ化 2. 照明設備の省エネタイプへの更新 (1) 蛍光管を H f タイプへ変更 (2) 省エネ型 W エコ 1 灯用器具への変更 (3) L E D 蛍光器具への変更 (4) 誘導灯を L E D 器具へ変更 3. 熱源周りの更新 (1) ボイラー排ガス温度有効利用の検討 (2) 冷却水・冷温水ポンプの回転数制御装置等の採用
自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置 (第 3 号該当者等)	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

なし

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種 類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

1. 排水処理運用の見直し
酸素濃度見直しによるブロワ動力の削減を実施し 年間125,170Kwの電気使用量削減
2. 蒸気配管保温材の取り付け
バルブ・ボイラへの断熱材取り付けによる放熱ロス削減で 年間53,442m3のガス使用量削減
3. エアコンプレッサーの運用見直し
空運転削減による動力削減によって 年間113,880Kwの電気使用量削減
4. ボイラー運転圧力の見直し
ボイラー運転圧力の見直しによる熱量削減で 年間183,000m3のガス使用量削減
5. 冷却水ポンプ運用変更
冬季、中間期の運転台数見直しにより 年間38,016Kwの電気使用量削減

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

1. 店舗廃棄物の管理

店舗にて発生する廃棄物の減量化、分別化、リサイクル化の推進を行う。

2. 紙の排出量の削減

OA 用紙・コピー用紙を 2011 年度までに、2007 年度比店舗 40%、
事務所 50%削減する。

3. 水使用量の削減。

水使用量を 2011 年度までに、2009 年度比 15%削減する。

様式第 1 号

(第 7 面)

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	7,799	t-CO ₂
(調)	6,358	

イ 第 3 号該当者等

(実)	t-CO ₂
(調)	

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
ダイエー川崎プロセスセンター	川崎区白石町6番1号	6900	不動産賃貸業	4,623 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
フーディアム武蔵小杉店	中原区新丸子東3-1100-14	5811	各種食料品小売業	1,109 t-CO ₂
ダイエー向ヶ丘店	多摩区登戸2789	5611	百貨店・総合スーパー	2,067 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--